

# 北海道浮魚ニュース

平成 21(2009)年度 2 号 (通巻 No.273)

2009 年 4 月 28 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 第 1 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

今年日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたのでお知らせします。今回は、漁期前半(5月~7月)の予報と速報的な情報が中心です。

なおこの予報は、日本海側道府県水産研究機関も参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報本文は次のホームページでご覧になれます。

水産庁 (<http://www.jfa.maff.go.jp/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)

## 今後の見通し(2009年5月~7月)

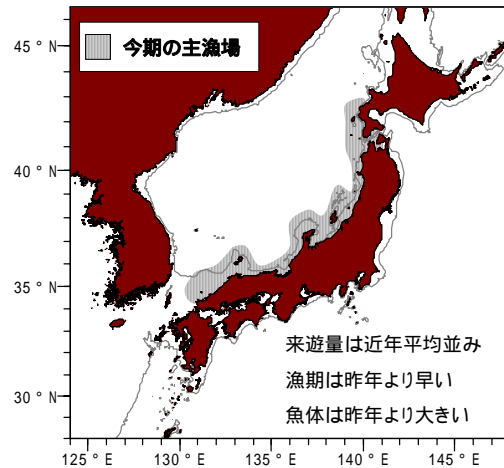
対象魚種 : スルメイカ

対象海域 : 日本海

対象漁業 : 主にいか釣り漁業

対象魚群 : 主に秋季発生系群

- (1) 来遊量 :  
近年平均並み。
- (2) 漁期・漁場 :  
昨年より早い(近年平均並み)。
- (3) 魚体の大きさ :  
昨年より大きい(近年平均並み)。



### 【根拠となる情報】

- ・ 2009年4月に実施した表層トロール(幼スルメイカが対象)の調査結果では、今期に漁獲加入すると予想される外套長5cm以上のスルメイカの分布量は、近年平均並みであった。
- ・ 同時期に行ったLCネットの調査結果では、隠岐諸島北方から大和堆南沖に外套長10cm~15cmのスルメイカが多く採集された。
- ・ 対馬暖流域の水温は、今期間平年よりも「やや高め」に推移すると予測されている。
- ・ 2008年10月~11月のスルメイカ幼生の分布調査結果では、幼生の分布密度は1990年代以降の水準を維持しているものの、かなり低い値であった。

近年 : 最近5年間(2004年~2008年)  
(北海道近年平均漁獲量 : 約6,500トン)

北海道に来遊するスルメイカについての情報はまだ少なく、今後のスルメイカの来遊状況に関しては、5月下旬から函館水試金星丸が、6月下旬から中央水試おやしお丸が調査を行います。その結果をお待ち下さい。

また、漁期後半については、第2回日本海スルメイカ長期漁況予報が7月に発表されます。その他の情報を含め、随時浮魚ニュースでお知らせいたします。

(文責 : 中央水産試験場資源管理部, TEL:0135-23-8707, FAX:0135-23-8709)